

千原台高等学校及び総合ビジネス専門学校改革に係る教育課程の編成等について

令和3年（2021年）11月25日  
学校改革推進課

令和3年（2021年）6月に策定した、市立高等学校・専門学校改革基本計画（千原台高等学校・総合ビジネス専門学校編）に基づく、教育課程編成等の検討状況について以下のとおり報告します。

I 検討状況の概要

1 各校の教育課程編成方針等

	千原台高等学校	総合ビジネス専門学校
学科名	情報ビジネス探究科 健康スポーツ探究科	キャリア創造学科
教育理念	情報やビジネス、スポーツに関する高い専門性を有するスペシャリストを育成する	起業家育成を柱に、新たな時代に対応したビジネス教育を行う学校
教育課程編成方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必修科目を含めた全ての科目において、探究的な学習を推進する。</li> <li>・ 将来、社会に貢献できる人材育成を目指し、専門科目、探究学習を充実させる。</li> <li>・ 選択科目を開設することで多様な生徒のニーズに応える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業家教育を柱に現在の教育内容を充実させた科目を開設する。</li> <li>・ 起業する際に必要な法令等の知識を修得できる科目を開設する。</li> <li>・ 資格取得に対応した選択科目を開設することで、企業への就職を希望する生徒のニーズに応える。</li> </ul>
教育課程（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報ビジネス探究科では専門科目を必修で31単位、選択で2単位、また健康スポーツ探究科では専門科目を必修で25単位開設することで、高度な専門教育を行う。</li> <li>・ 大学等外部機関と連携し、協力を得ながら探究の基礎から学び、社会貢献・自己実現につなげるために学校設定科目「探究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を開設する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育内容を起業家育成関連科目、ビジネス実践科目の2つの学修区分に設定し、学科全体をとおして起業家教育に取り組む。</li> <li>・ 熊本の地域産業や芸術・伝統文化の特徴など、熊本でビジネスを起こすうえでの基礎となる科目を開設する。</li> <li>・ 市役所の担当部局や商工会議所等の産業界と連携したビジネスプラン考案学修を実施する。</li> </ul>

※開設予定科目等の詳細は、「Ⅱ千原台高等学校 教育課程（案）」及び「Ⅲ総合ビジネス専門学校 教育課程（案）」を参照

※主な変更点を赤字で表記（以降同じ）

## II 千原台高等学校及び総合ビジネス専門学校の学科・コース名について

### 千原台高等学校

生徒・教職員・保護者アンケートを実施後、生徒代表及び教職員で協議し、「情報ビジネス探究科(情報コース・ビジネスコース)」、「健康スポーツ探究科」を学科・コース名の最終案とした。

#### 【情報ビジネス探究科(情報コース・ビジネスコース)】

アンケート結果で1位であり、「情報やビジネスというワードは馴染みがあり分かりやすい。」「時とともに廃れるようなものは避けたい。」「学科名に探究が入ることで探究学習を重視した科であることは分かるため、コース名に探究は不要。」との意見等を踏まえ決定。

#### 【健康スポーツ探究科】

アンケート結果で1位であり、「名前に愛着がある。」「スポーツだけではなく、医療や食育等の健康分野も学ぶことができる学科の特徴をよく表している。」との意見等を踏まえ決定。

アンケート結果(情報ビジネス探究科)	生徒		保護者		教職員		計	
① 情報ビジネス探究科 ・情報探究コース・ビジネス探究コース	104	20.1%	22	14.6%	14	41.2%	140	19.9%
② 総合ビジネス探究科 ・情報探究コース・商業探究コース	106	20.5%	14	9.3%	7	20.6%	127	18.0%
③ ビジネス探究科 ・ICT探究コース・グローバルビジネス探究コース	60	11.6%	19	12.6%	0	0.0%	79	11.2%
④ ビジネス探究科 ・情報探究コース・会計探究コース	40	7.7%	8	5.3%	3	8.8%	51	7.3%
⑤ ビジネス探究科 ・技術経営探究コース・ビジネスキャリア探究コース	37	7.1%	10	6.6%	1	2.9%	48	6.8%
⑥ ビジネス探究科 ・デジタル技術探究コース・会計探究コース	26	5.0%	13	8.6%	2	5.9%	41	5.8%
⑦ ビジネス探究科 ・情報技術探究コース・マネジメント探究コース	23	4.4%	6	4.0%	2	5.9%	31	4.4%
⑧ ビジネス探究科 ・情報リテラシー探究コース・ビジネスリテラシー探究コース	12	2.3%	4	2.6%	0	0.0%	16	2.3%
⑨ 一任	104	20.0%	52	34.4%	3	8.8%	159	22.6%
⑩ その他	7	1.3%	3	2.0%	2	5.9%	12	1.7%
計	519		151		34		704	

アンケート結果(スポーツ探究科)	生徒		保護者		教職員		計	
① 健康スポーツ探究科	167	32.2%	15	10.0%	11	32.3%	193	27.4%
② 総合スポーツ探究科	100	19.3%	39	25.8%	1	2.9%	140	19.9%
③ スポーツ探究科	78	15.0%	10	6.6%	9	26.5%	97	13.8%
④ スポーツサイエンス探究科	15	2.9%	15	10.0%	3	8.8%	33	4.7%
⑤ スポーツ科学探究科	20	3.9%	10	6.6%	2	5.9%	32	4.5%
⑥ ヒューマンスポーツ探究科	25	4.8%	3	2.0%	0	0.0%	28	4.0%
⑦ スポーツみらい探究科(スポーツ未来探究科)	16	3.1%	8	5.3%	2	5.9%	26	3.7%
⑧ 生涯スポーツ探究科	6	1.1%	4	2.6%	0	0.0%	10	1.4%
⑨ 一任	81	15.6%	45	29.8%	4	11.8%	130	18.5%
⑩ その他	11	2.1%	2	1.3%	2	5.9%	15	2.1%
計	519		151		34		704	

### 総合ビジネス専門学校

市立学校3校の生徒・教職員アンケートを実施後、生徒代表及び教職員で協議を行い、「キャリア創造学科」を学科名の最終案とした。

アンケート結果では、「総合ビジネス(現行)」が最も多かったが、新しい学科を設置するため名称を変更した方がよいとの意見があったことに加え、「キャリア」を冠に持つ学科名②③⑤⑥⑦を合計すると約半数を占め、また「キャリア創造」という意味で共通する②⑤⑦を合計すると①総合ビジネス、④ベンチャービジネスを上回り評価が高かったことや、新学科の性質を端的に表す短い名称がよいといった意見等を踏まえ決定。

アンケート結果	総合ビジネス専門学校				市立高等学校(2校)				計	
	生徒		教職員		生徒		教職員			
① 総合ビジネス(現行)	27	35.0%	1	14.3%	142	26.5%	5	12.2%	175	26.4%
② キャリア創造ビジネス	7	9.1%	1	14.3%	103	19.2%	5	12.2%	116	17.5%
③ キャリアデザイン	5	6.5%	2	28.5%	70	13.0%	5	12.2%	82	12.4%
④ ベンチャービジネス	19	24.7%	1	14.3%	51	9.5%	8	19.5%	79	11.9%
⑤ キャリアクリエーション	8	10.4%	0	0.0%	40	7.4%	2	4.9%	50	7.6%
⑥ キャリアプランニング	2	2.6%	1	14.3%	35	6.5%	5	12.2%	43	6.5%
⑦ キャリア創造	0	0.0%	0	0.0%	33	6.1%	2	4.9%	35	5.3%
⑧ クリエーションビジネス	0	0.0%	0	0.0%	32	6.0%	0	0.0%	32	4.8%
⑨ フロンティアビジネス	4	5.2%	0	0.0%	23	4.3%	4	9.7%	31	4.7%
⑩ 地域ビジネス創造	2	2.6%	0	0.0%	5	0.9%	3	7.3%	10	1.5%
⑪ 地域価値創造	3	3.9%	1	14.3%	3	0.6%	2	4.9%	9	1.4%
計	77		7		537		41		662	

### Ⅲ 千原台高等学校 教育課程（案）

#### 1：教育理念

情報やビジネス、スポーツに関する高い専門性を有するスペシャリストを育成する

#### 2：人材育成の方向性

- ・それぞれの専門性を生かし、地域の活性化を担う人材の育成
- ・ビジネスリーダーやローカルリーダーの育成
- ・起業や個人での発信等に挑戦できる人材の育成
- ・スポーツの専門人材の育成

#### 3：学科の概要や特色

○令和5年度設置予定

課程	学科	コース	概要や特色	募集定員
全日制	情報ビジネス探究科	情報コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のビジネスリーダー、ローカルリーダーを目指す</li> <li>・専門科目を必修で31単位履修</li> <li>・市役所、大学、総合ビジネス専門学校、地域、企業等と連携した専門的、探究的学習</li> <li>・取得した資格を生かし、地域企業への就職や総合ビジネス専門学校・大学等への進学</li> </ul>	120名
		ビジネスコース		
全日制	健康スポーツ探究科		<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のトップアスリート、ローカルリーダーを目指す</li> <li>・専門科目を必修で25単位履修</li> <li>・市役所、大学、総合ビジネス専門学校、地域、企業等と連携した専門的、探究的学習</li> <li>・スポーツ・福祉関連の地域企業への就職や総合ビジネス専門学校・大学等への進学</li> </ul>	40名
計				160名

学科・コース名決定のプロセス

10/ 7（木）～14（木） 運営委員会、職員会議において学科・コース名候補の選出およびアンケートの内容検討・作成

10/20（水）～25（月） 生徒、保護者、教職員へアンケート調査実施

10/26（火） アンケート集計・調査結果まとめ（結果は別紙）

11/ 1（月） 「校内 学科・コース名検討会」を実施し、学科・コース名の学校案を決定

検討委員：校長、教頭、事務長、教務主任

進路指導主事、体育科主任、情報科主任、生徒会顧問、新旧生徒会役員

○現行

課程	学科	コース	概要	募集定員
全日制	普通科	健康スポーツコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに関する科学的な知識に関する学習</li> <li>・豊かで健康的な社会づくりに貢献できる人材を育成</li> </ul>	40名
		国際経済コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会で活躍する人材育成</li> <li>・検定試験やコンテストへの参加等、外国語教育に重点</li> </ul>	40名
	情報科	OA会計コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簿記、会計のスペシャリスト育成</li> <li>・商業、経済、法律に関する基礎的な知識・技術習得</li> </ul>	80名
		経営情報コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理のスペシャリスト育成</li> <li>・商業、経済、法律に関する基礎的な知識・技術習得</li> </ul>	40名
計				200名

## 4：令和5年度教育課程（案）

- ・必履修科目を含めた全ての科目において、探究的な学習を推進する。
- ・将来、社会に貢献できる人材育成を目指し、専門科目、探究学習を充実させる。
- ・選択科目を開設することで多様な生徒のニーズに応える。
- ・情報ビジネス探究科では専門科目を必修で31単位、選択で2単位、また健康スポーツ探究科では専門科目を必修で25単位開設することで、高度な専門教育を行う。
- ・大学等外部機関と連携し、協力を得ながら探究の基礎から学び、社会貢献・自己実現につなげるために学校設定科目「探究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を開設する。

### 情報ビジネス探究科

#### 情報コース

		必履修科目(34)										普通科目(14)				選択(普通・専門)科目(2)		専門科目(31)					探究(6)		LHR(3)						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		現代の国語(2)	言語文化(2)	数学Ⅰ(2)	公共(2)	科学と人間生活(2)	英語コミュニケーションⅠ(3)	音楽Ⅰ(1)	保健(1)	体育(2)	ビジネス基礎(2)	簿記(4)		情報処理(4)		探究Ⅰ(2)															
2年		地理総合(2)	数学Ⅰ(2)	家庭基礎(2)	音楽Ⅰ(1)	保健(1)	体育(2)	論理国語(3)	英語コミュニケーションⅡ(3)	ソフトウェア活用(4)	プログラミング(3)	ビジネス・マネジメント(2)	マーケティング(2)	探究Ⅱ(2)																	
3年		歴史総合(2)	生物基礎(2)	体育(3)	論理国語(3)	数学A(2)	英語コミュニケーションⅢ(3)	※コンテンツの制作と発信 ※論理・表現Ⅰ ※音楽Ⅱ(2)	総合実践(3)	課題研究(2)	※商品開発と流通 ※観光ビジネス(2)	ネットワーク活用(3)	探究Ⅲ(2)																		

#### ビジネスコース

		必履修科目(34)										普通科目(14)				選択(普通・専門)科目(2)		専門科目(31)					探究(6)		LHR(3)						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		現代の国語(2)	言語文化(2)	数学Ⅰ(2)	公共(2)	科学と人間生活(2)	英語コミュニケーションⅠ(3)	音楽Ⅰ(1)	保健(1)	体育(2)	ビジネス基礎(2)	簿記(4)		情報処理(4)		探究Ⅰ(2)															
2年		地理総合(2)	数学Ⅰ(2)	家庭基礎(2)	音楽Ⅰ(1)	保健(1)	体育(2)	論理国語(3)	英語コミュニケーションⅡ(3)	財務会計Ⅰ(4)	原価計算(3)	ビジネス・コミュニケーション(2)	マーケティング(2)	探究Ⅱ(2)																	
3年		歴史総合(2)	生物基礎(2)	体育(3)	論理国語(3)	数学A(2)	英語コミュニケーションⅢ(3)	※管理会計 ※論理・表現Ⅰ ※音楽Ⅱ(2)	総合実践(3)	課題研究(2)	※商品開発と流通 ※観光ビジネス(2)	財務会計Ⅱ(3)	探究Ⅲ(2)																		

### 健康スポーツ探究科

		必履修科目(36)										普通科目(17)				選択(普通・学校設定)科目(3)			専門科目(25)					探究(6)		LHR(3)					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年		現代の国語(2)	言語文化(2)	数学Ⅰ(2)	公共(2)	科学と人間生活(2)	英語コミュニケーションⅠ(3)	情報Ⅰ(2)	音楽Ⅰ(2)	保健(1)	体育(3)	※スポーツⅠ ※スポーツⅡ(4)		科学(1)	概論(1)	スポーツ(2)															
2年		歴史総合(2)	地理総合(2)	数学Ⅰ(2)	生物基礎(2)	家庭基礎(2)	保健(1)	体育(2)	論理国語(2)	英語コミュニケーションⅡ(3)	※スポーツⅠ ※スポーツⅡ(5)		スポーツ総合演習(2)	科学(1)	概論(1)	スポーツ(2)															
3年		体育(2)	※地理探究 ※世界史探究 ※日本史探究(4)	英語コミュニケーションⅢ(3)	論理国語(3)	※化学基礎 ※数学A(2)	※スポーツと栄養 ※生物(3)	※スポーツⅠ ※スポーツⅡ(5)		スポーツⅥ(2)	スポーツ総合演習(2)	概論(1)	スポーツ(2)	探究Ⅲ(2)																	

#### 【前回報告からの主な変更点】

##### 情報ビジネス探究科（情報コース、ビジネスコース）

- ・資格取得を目指し、一部商業専門科目の履修学年及び単位数を変更した。

##### 健康スポーツ探究科

- ・高大連携を図るため、学校設定科目「スポーツと科学」を1、2年次にそれぞれ1単位ずつ開設した。
- ・進路選択の幅を広げるために、理科の単位を追加した<sup>4</sup>

## 5：現在の教育課程

- ・経営情報コースとOA会計コースでは専門科目を必修で29単位、選択で3単位、また、健康スポーツコースでは専門科目を必修で14単位開設している。

### 情報科

#### 経営情報コース

	必修科目(33)									普通科目(19)						選択(普通・専門)科目(3)			専門科目(29)			総探(3)		LHR(3)						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合(4)				現代社会(2)		数学Ⅰ(3)			科学と人間生活(2)		保健(1)	体育(2)	音楽Ⅰ(2)	コミュニケーション英語Ⅰ(3)			ビジネス基礎(2)		簿記(3)			情報処理(4)			総探(1)	LHR(1)			
2年	世界史A(2)	家庭基礎(2)	保健(1)	体育(2)	現代文B(2)		古典A(2)		数学Ⅱ(3)			コミュニケーション英語Ⅱ(3)			簿記(3)		ビジネス情報(5)			プログラミング(3)			総探(1)							
3年	※日本史A ※地理A(2)	生物基礎(2)		体育(3)			現代文B(3)			数学Ⅱ(2)		コミュニケーション英語Ⅲ(3)			家庭基礎(1)	※数学A ※英語表現Ⅰ ※ビジネス経済(3)		課題研究(2)		総合実践(3)		※マーケティング ※プログラミング(2)		ビジネス情報管理(2)		総探(1)				

#### OA会計コース

	必修科目(33)									普通科目(19)						選択(普通・専門)科目(3)			専門科目(29)			総探(3)		LHR(3)						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合(4)				現代社会(2)		数学Ⅰ(3)			科学と人間生活(2)		保健(1)	体育(2)	音楽Ⅰ(2)	コミュニケーション英語Ⅰ(3)			ビジネス基礎(2)		簿記(5)			情報処理(2)		総探(1)	LHR(1)				
2年	世界史A(2)	家庭基礎(2)	保健(1)	体育(2)	現代文B(2)		古典A(2)		数学Ⅱ(3)			コミュニケーション英語Ⅱ(3)			ビジネス実務(2)		財務会計Ⅰ(4)		原価計算(3)			情報処理(2)		総探(1)						
3年	※日本史A ※地理A(2)	生物基礎(2)		体育(3)			現代文B(3)			数学Ⅱ(2)		コミュニケーション英語Ⅲ(3)			家庭基礎(1)	※数学A ※英語表現Ⅰ ※ビジネス経済(3)		課題研究(2)		総合実践(3)		※マーケティング ※管理会計(2)		財務会計Ⅱ(2)			総探(1)			

### 普通科

#### 健康スポーツコース

	必修科目(38)									普通科目(33)						専門科目(13)			総探(3)		LHR(3)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合(4)				現代社会(2)		数学Ⅰ(5)			科学と人間生活(2)		コミュニケーション英語Ⅰ(3)			社会と情報(2)		音楽Ⅰ(2)	保健(1)	体育(3)			※スポーツⅠ ※スポーツⅡ(3)			概論(1)	総探(1)	LHR(1)			
2年	世界史A(2)	※日本史A ※地理A(2)	生物基礎(2)		家庭基礎(2)	保健(1)	体育(3)			現代文B(2)		古典B(2)		数学Ⅱ(3)			※数学A ※英語表現Ⅰ(2)		コミュニケーション英語Ⅱ(3)			※スポーツⅠ ※スポーツⅡ(3)			概論(1)	総探(1)				
3年	体育(2)	現代文B(3)		古典B(2)		※世界史B ※日本史B ※地理B(4)			※倫理・政治経済 ※化学基礎・数学B ※情報処理・音楽Ⅱ(4)			数学Ⅱ(2)		※生物 ※英語表現Ⅱ(3)		コミュニケーション英語Ⅲ(3)			スポーツ総合演習(2)		※スポーツⅠ ※スポーツⅡ(2)		概論(1)	総探(1)						

## IV 総合ビジネス専門学校 教育課程（案）

### 1：教育理念

起業家育成を柱に、新たな時代に対応したビジネス教育を行う学校

### 2：人材育成の方向性

- ・ 起業家精神を持ち、社会で長く活躍できる人材の育成
- ・ 自らのアイデアを起業につなげ、地域に新たな価値を創造する人材の育成
- ・ 熊本の経済や文化を理解し、地域産業への貢献を目指す人材の育成

### 3：学科の概要や特色

○令和5年度設置予定

課程	学科	概要や特色	募集定員
専門課程	キャリア創造学科	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 起業家教育の実施</li><li>・ 市役所や商工会議所等の産業界と連携したビジネスプラン考案学修及び卒業研究の実施</li><li>・ 起業・就職に関わらず、専門性を生かし地域産業に貢献</li><li>・ 市立高等学校との連携・接続や大学との連携</li><li>・ 資格取得につながる実践的な選択科目を開設</li><li>・ 大学編入に必要な試験科目を選択科目として開設</li></ul>	70名

学科名決定のプロセス

10/20（水）学科名アンケート内容検討・決定

10/25（月）～29（金）市立3校の生徒、教職員へアンケート調査実施（結果は別紙）

11/ 5（金）検討委員会（職員7名）で、アンケート集計・調査結果の確認

11/ 8（月）検討委員会（職員7名）で、検討・選考方法の確認

11/10（水）検討委員会（職員7名、生徒3名）で、学科名の学校案を決定

検討委員：校長、教頭、教務部長、情報ビジネスコース主任、経理ビジネスコース主任、  
観光サービスコース主任、OA経理科主任、生徒代表3名

○現行

課程	学科	募集定員
専門課程	総合ビジネス科（昼間部） <ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報ビジネスコース（36名）</li><li>・ 経理ビジネスコース（17名）</li><li>・ 観光サービスコース（17名）</li></ul>	70名
一般課程	OA経理科（夜間部）	20名

## 4：令和5年度教育課程（案）

※授業時間：50分

	科目名	学修内容	履修学年		
			1年	2年	
起業家育成関連科目	アントレプレナーシップ論	挑戦する心・自立（自律）・主体性を学修	○		
	基本簿記	日商簿記3級商業簿記程度を学修	○		
	キャリアプランニング	自分のこれまでを振り返るとともにこれからのキャリア構築について学修	○		
	熊本地域産業・文化	熊本の地域産業や芸術・伝統文化の特徴や歴史などを学修	○		
	社会人基礎力Ⅰ	社会人として必要な教養及び就職試験対策（面接等）を学修	○		
	デジタルツール基礎	パソコンソフトの基本的な活用法を学修	○		
	ビジネスプランニング演習Ⅰ	市役所や商工会議所等の産業界と連携したビジネスプランの考案を学修	○		
	法務・税務入門	ビジネスや生活に関連する法律や税務を学修	○		
	インターンシップ	インターンシップを経験し、業務内容や働くことの理解を深める学修	○		
	観光概論	観光の概念や観光にかかわる人間の行動を理解する学修		○	
	卒業研究	学修した内容をもとに報告書を作成し、発表する学修		○	
	社会人基礎力Ⅱ	社会人として必要な教養及び就職試験対策（面接等）を学修		○	
	情報リテラシー	情報活用能力を学修		○	
	ビジネスプランニング演習Ⅱ	市役所や商工会議所等の産業界と連携したビジネスプランの考案を学修		○	
	経営管理論（マネジメント基礎）	マネジメント（経営戦略）に関する学修		○	
	労務管理論（マネジメント基礎）	マネジメント（組織・人材）に関する学修		○	
	選択履修	スタートアップ法務・税務・財務Ⅰ	起業するにあたり必要な法務・税務・財務を学修	○	
		ビジネスモデル分析	テーマを設定し、実際に市場を調査し分析する学修	○	
		マーケティング	市場調査等の全過程にわたって行う企業活動を学修	○	
		eコマース（ECサイト運営）	ECサイト等を運営するのに必要な電子商取引を学修		○
スタートアップ研究		起業家による講義や成功・失敗事例の研究を行う学修		○	
スタートアップ法務・税務・財務Ⅱ		起業するにあたり必要な法務・税務・財務を学修		○	
マーチャンダイジング		繁盛店をつくるための具体的な考え方や方法論を学修		○	
ビジネス実践科目（選択履修）	工業簿記	日商簿記2級工業簿記程度を学修	○		
	商業簿記	日商簿記2級商業簿記程度を学修	○		
	会計実務	会計ソフトの活用法を学修		○	
	会計ビジネスゲーム	ボードゲームをつかった経理業務の実践演習等を学修		○	
	税務会計	税金（所得税や法人税等）について学修	○	○	
	ファイナンシャルプランニング基礎	お金に関する知識（資産構築・運用、保険、年金など）を学修	○		
	建設業簿記	実践的な建設業簿記、基礎的な建設業原価計算を学修		○	
	簿記演習	日商簿記2級合格のために必要な知識を学修		○	
	情報セキュリティ	情報漏洩の原因やウィルス対策について学修	○		
	ドローン活用Ⅰ	初心者向けのドローン活用を学修	○		
	プログラミングⅠ	プログラミング言語を学修	○		
	ドローン活用Ⅱ	中級者向けのドローン活用を学修		○	
	プログラミングⅡ	プログラミング言語を学修		○	
	データサイエンティスト	データサイエンスやAIなど先端ITの活用などを学修	○	○	
	動画編集・ネット動画クリエイター	ゼロから動画を作り上げるための企画力やシナリオライティングを学修	○	○	
	ITパスポート	ITに関する基礎的知識を学修	○	○	
	デジタルツール応用	パソコンソフトの応用的な活用法を学修	○	○	
	ホテル概論	ホテル関係を学修	○	○	
	旅行概論	旅行関係を学修	○	○	
	観光英語Ⅰ（ビジネス英語Ⅰ）	観光業界で働くために必要な英語を学修	○		
	観光英語Ⅱ（ビジネス英語Ⅱ）	観光業界で働くために必要な英語を学修		○	
	外国語	中国語又は韓国語を学修	○	○	
	ビジネスコミュニケーション	社会人として必要なビジネスマナーを学修	○		
サービス接遇	サービス業務に対する心構え、応対などの技術を学修		○		
スポーツⅠ	コミュニケーションツールとしてのスポーツを学修	○			
スポーツⅡ	コミュニケーションツールとしてのスポーツを学修		○		
小論文・面接・英語対策	大学編入のための学修	○	○		

### 【前回報告からの変更点】

- ・マネジメント基礎を学修する内容によって経営管理論及び労務管理論に変更した。
- ・ECサイト運営を幅広く電子商取引を学修するためeコマースに変更した。
- ・ビジネス英語を観光業界で働くために必要な英語を学修するため観光英語に変更した。
- ・大学編入のため英語対策の学修を追加した。

### 【昼夜開講制について】

- ・基本となる教育課程を概ね確定させた後、開講期間（通年/半期/短期等）や開講科目、市立高等学校との連携・接続等を構築する予定。

5：現在の教育課程

※授業時間：総合ビジネス科60分、OA経理科50分

科目 ○は選択科目	総合ビジネス科						OA 経理科
	1年			2年			
	情報 ビジネス	経理 ビジネス	観光 サービス	情報 ビジネス	経理 ビジネス	観光 サービス	
共通科目	I T 基礎	4	4	4			
	I T 応用				3	3	
	ビジネス情報						6
	商業簿記	3	5			5	9
	ビジネス実務				2	2	2
	英語会話	2	2	2			
	キャリアデザイン	1	1				
	熊本城学				1	1	1
	総合演習				後2	後2	後2
スポーツ	1	1	1	1	1	1	
情報ビジネス	I T パスポート	5			5		
	情報セキュリティ				前2		
	I T 活用 I	5					
	プログラミング I	2					
	ドローン活用	2			3		
	I T 活用 II				4		
	プログラミング II				4		
経理ビジネス	工業簿記		4			3	
	簿記演習		3				
	経理実務					3	
	税務会計		2			2	
	ビジネス法務		2				
	資産設計					3	
	医療事務					前2	
	社会人基礎		1				
観光サービス	観光学基礎						後6
	観光地理			5			前6
	旅行業法			前2			
	おもてなし接待			後2			
	旅行業約款 I			前3			
	旅行管理者過去問演習			後3			
	旅行業約款 II						前4
	熊本観光文化研究						後4
	旅行実務 I			前3/後2			
	観光キャリアデザイン			後1			
	旅行実務 II						前2
	ホテル総論						1
	宿泊実務						1
	料飲実務			1			1
	観光英語			2			4
中国語			〇2			〇2	
韓国語			〇2			〇2	
合計	25	25	25	25	25	25	15
インターンシップ	1年次に全員実施						

## V 今後の主なスケジュールについて

年	月	内容
令和3年度	12月	○第4回定例会教育市民委員会所管事務報告 千原台高等学校・総合ビジネス専門学校における教育課程等
	1月	○定例教育委員会会議 千原台高等学校・総合ビジネス専門学校改革に伴う条例改正等
	3月	○第1回定例会 千原台高等学校・総合ビジネス専門学校改革に伴う条例改正等
		○定例教育委員会会議 千原台高等学校・総合ビジネス専門学校改革に伴う規則改正
令和4年度	6月	○教育課程確定 千原台高等学校・総合ビジネス専門学校
	10月 ～3月	○令和5年度入学者試験 総合ビジネス専門学校
	2月 3月	○令和5年度入学者選抜 千原台高等学校
令和5年度	4月	○開校 千原台高等学校 情報ビジネス探究科 情報コース・ビジネスコース 健康スポーツ探究科 総合ビジネス専門学校 キャリア創造学科

## VI 教育委員との意見交換会

### ○千原台高等学校

日 時：9月16日（木） 16時から17時30分まで

参加者：苫野一徳教育委員

生徒（8名）、教職員（7名）

#### 主な意見

- ・先進校の改革の成果を見て、千原台ももっと変われるところがあると思った。（生徒）
- ・探究で自分の好きなことを調べ、夢を見つけたい。（生徒）
- ・目的意識を持っている生徒とそうでない生徒で授業に向かう姿勢に差があるため、自分が学びたい事を選択でき、少人数で学べる環境をつくりたい。（生徒）
- ・海外で活躍したいと考えているが、探究との関係性をあまり感じない。探究についてよく分からないため、もっと知りたい。（生徒）
- ・今学校に無い購買部を作ったり、簿記での学びを生かして、生徒自身で経営しビジネスを学んだりしたい。（生徒）
- ・2年生にとっては卒業した後のことなので、改革に前向きな思いの生徒が少ない。（生徒）
- ・国際経済コースに入学したのは、「留学ができる」「英語の勉強がしっかりできる」から。改革では国際経済コースがなくなっている。

### ○総合ビジネス専門学校

日 時：9月16日（木） 16時から17時30分まで

参加者：小屋松徹彦教育委員、遠藤洋路教育長

生徒（8名）、教職員（10名）

#### 主な意見

- ・ICT、プログラミング、簿記などについて、もっと掘り下げて学びたい。（生徒）
- ・語学やTOEICなど、世界で通用するような資格取得に向けた勉強を増やしてほしい。（生徒）
- ・単位制ではなく、みんなが同じ授業を受けて、教え合って勉強できる場所は残してほしい。（生徒）
- ・プログラミング言語（C言語、Java）は社会に出て必要なスキルであると思う。またリモートやブレゼンテーションの時間を設けるとよい。（生徒）
- ・就職活動の時期を早めてほしい。1年生のうちに活動できると、2年生で必要な資格取得の取組につなげることができる。（生徒）
- ・視野を広げるためにインターンシップの日数や、行くことのできる会社数を増やしてほしい。（生徒）
- ・「ベンチャービジネス科」は、かなりインパクトが強い名前だと思うが、実際に起業するという実績が伴わなければリスクが大きいと思う。この専門学校の強みである情報や簿記などの情報があるといいのではないか。（生徒）

### ○必由館高校

日 時：9月21日（火） 16時から17時30分まで

参加者：西山忠男教育委員、出川聖尚子教育委員、遠藤洋路教育長

生徒（9名）、教職員（17名）、同窓会（3名）

#### 主な意見

- ・全員が同じ学力ではない。生徒が授業中に個人的に先生に質問でき、自分が学びたいことを突き詰められる環境があるといい。（生徒）
- ・進路（夢）選択の幅を広げるために、職場体験、市の活動への参加、公務員試験に特化した学習など、なりたい職業に関する勉強ができるようにしてほしい。（生徒）
- ・グローバル探究科より、普通科を残してほしい。倍率は下がっていないので普通科のままでいい。（生徒）
- ・普通科は幅広い進路選択が可能な時間割編制となっており、スポーツが得意な生徒、芸術に長けた生徒、勉強に頑張る生徒など多様な人材がいるのが、今の必由館高校の良いところ。（生徒）
- ・生徒が主体的に行動できるようになった方がいい。改革も、生徒、教員、教育委員会がしっかり話し合いながらやっていくことが大事。（生徒）
- ・附属中学校に反対ではないが、高校がどういう高校になるのか分からない段階で受検する生徒がいるだろうか。（教職員）